

# 全国大学書写書道教育学会 第31回(岩手)大会開催要項 (第2次案内)

下記の通り、第31回大会を開催します。多数ご参加ください。

1. 主 催 全国大学書写書道教育学会
2. 後 援 岩手県教育委員会・盛岡市教育委員会
3. 開催大学 岩手大学
4. 期 日 平成28年9月24日(土)
5. 会 場 岩手大学総合教育研究棟 (教育系)  
所在地 〒020-8550 盛岡市上田3-18-33
6. 参加費 4,000円(※大学院生)

## 7. 日 程 (予定)

9月24日(土)	
9:00~9:25	受付
9:30~12:00	
◆研究発表	
〈第1分科会〉 北桐ホール	
9:30~9:35	発表と質疑等の案内 司会 津村幸恵 (千葉大学)
9:35~10:05 [1-1]	
ICTの活用による書字能力に関する研究 -資質・能力の育成という視点から-	
	盛岡大学 本田 容子
	福井大学 杓名健一郎
10:10~10:40 [1-2]	
小学校の教科をつなぐ板書教育を目指して	
	三重大学 林 朝子
10:55~11:25 [1-3]	
利き手・非利き手での書字活動時における脳血流動態の比較 -NIRS及び筆圧握圧計則装置による測定を通しての試論-	
	信州大学 小林比出代
11:30~12:00 [1-4]	
教員養成課程における書写の授業に適した毛筆(大筆)の機能性に関する研究	
	武蔵野大学 廣瀬 裕之
	武蔵野大学大学院生 北川 航平
	武蔵野大学大学院生 林 昂平

〈第2分科会〉 E21講義室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内

司会 清水文博 (新潟大学)

9:35～10:05 [2-1]

中華人民共和国における写字書法教育の研究 — 『中小学書法教育指導綱要』を起点として—  
都留文科大学・桜美林大学兼任講師 草津 祐介

10:10～10:40 [2-2]

明治20年代の書字教育におけるペンマンシップ理論の影響

帝京科学大学 鈴木 貴史

10:55～11:25 [2-3]

1930-50年代の国語教育学における書字教育の位置づけとその理論

鎌倉女子短期大学部 杉山 勇人

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 ◆総会 北桐ホール

14:10～16:20 ◆シンポジウム 北桐ホール

「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)と書写教育」

コーディネーター 広島大学 松本 仁志

パネリスト 文化庁 武田 康宏

愛媛大学 佐藤 栄作

山梨大学 宮澤 正明

上越教育大学 押木 秀樹

16:30 閉会

8. 学会誌への論文掲載

大会における口頭発表を論文として学会誌『書写書道教育研究』に掲載することを希望する場合は、当学会ホームページ(<http://www.jacse.org/>)掲載の執筆要領によって応募してください。原稿の締め切りは、12月10日(土)。なお、学会誌掲載の可否は査読によって決定されます。

9. 『学会賞』『学会功労賞』『学会奨励賞』の贈呈について

書写書道教育に関する優れた業績に対し、該当者がある場合に、総会において『学会賞』『学会功労賞』『学会奨励賞』を贈ります。

10. 若手研究者による懇話会

日時 9月24日(土) 午後4時30分～午後5時(※予定)

会場 岩手大学総合教育研究棟(教育系)内 E24 講義室

11. 懇親会(三学会合同)

日時 9月24日(土) 午後6時～午後8時

会場 ホテルメトロポリタン盛岡(本館) 4階「岩手の間」

〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前1-44 019-625-1211(代表)

会費 6,000円(\*大学院生 4,500円)